

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エイチワン
 コード番号 5989 URL <http://www.h1-co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 金田 敦
 (氏名) 大月 悦次

TEL 048-643-0010

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	75,698	△19.1	△1,357	—	△1,546	—	△1,454	—
23年3月期第3四半期	93,606	8.9	4,367	—	4,941	—	3,656	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △4,247百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 1,128百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	△56.59	—
23年3月期第3四半期	142.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第3四半期	97,337	36,521	32.8	1,240.91
23年3月期	94,350	41,167	37.9	1,390.15

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 31,881百万円 23年3月期 35,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、平成23年10月31日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、連結業績予想数値につきましては、算定が可能となりましたらすみやかに開示いたします。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) エイチワン・パーツ・シラチャ・カンパニー・リミテッド、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無になります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	25,750,830 株	23年3月期	25,750,830 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	58,563 株	23年3月期	58,405 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	25,692,317 株	23年3月期3Q	25,692,591 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、アメリカでは量的緩和による低金利政策が維持され、ヨーロッパでは債務問題が混迷を深めてきたことで、外国為替市場において戦後最高水準の円高が続きました。また、中国では物価抑制が図られる中で景気にやや陰りが見え始めました。日本では東日本大震災後の景気の落ち込みからは徐々に回復してきたものの、円高や10月に発生したタイの洪水の影響は企業収益の不確定要素となっています。

自動車業界においては、東日本大震災の影響から脱して生産が回復してきた矢先にタイの洪水により再びサプライチェーンが寸断され、同国内の生産に留まらず日系メーカーのグローバル生産にも部品不足などの形で影響が及びました。

このような環境下、当社グループでは今期より第3次中期事業計画（平成23年4月～平成26年3月）をスタートし、その諸施策を鋭意実行しております。

以上を受けた当第3四半期連結累計期間の経営成績は、顧客のグローバル生産台数が大規模災害によるサプライチェーン毀損の問題や日本での夏期の電力使用量の削減への対応などから前年同四半期に比べて大幅に減少したことにより、売上高756億98百万円（前年同四半期期比19.1%減）となりました。また、投資計画の見直しやコストの圧縮に努めたものの営業損失13億57百万円（前年同四半期は営業利益43億67百万円）、経常損失15億46百万円（前年同四半期は経常利益49億41百万円）、四半期純損失14億54百万円（前年同四半期は四半期純利益36億56百万円）となりました。

なお、タイの洪水で被災しました連結子会社エイチワン・パーツ(タイランド)カンパニー・リミテッドの第3四半期決算日は9月30日であるため、当第3四半期連結累計期間の経営成績には同社が洪水により被った影響額等は含まれておりません。

セグメントの業績につきましては次のとおりであります。

①日本

生産は東日本大震災による落ち込みからは持ち直してきたものの、タイの洪水が部品供給の制約を通じて生産面に影響を与えたことにより、売上高348億7百万円（前年同四半期比14.4%減）、経常損失6億20百万円（前年同四半期は経常利益12億90百万円）となりました。

②北米

東日本大震災後の生産の落ち込みからは脱してきたものの、タイの洪水が部品供給の制約を通じて生産面に影響を与えたことにより、売上高249億84百万円（前年同四半期比22.6%減）、経常損失12億86百万円（前年同四半期は経常利益3億55百万円）となりました。

③中国

東日本大震災後に部品供給の制約によって落ち込んだ自動車生産は回復に転じたものの減少分を補うまでには至らず、売上高170億3百万円（前年同四半期比9.9%減）、経常利益10億80百万円（前年同四半期比50.4%減）となりました。なお、第3四半期連結累計期間における中国の業績は、平成23年1月1日から平成23年9月30日のものであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における連結財政状態は、生産活動の回復により前連結会計年度に比べてたな卸資産や受取手形及び売掛金が増加したことにより流動資産合計が増加しました。また、エイチワン・パーツ・シラチャ・カンパニーリミテッドが第1四半期連結会計期間に新たに連結の範囲に含まれ同社に対する投資有価証券が相殺消去されたことから投資その他の資産合計が減少した一方で土地を含む有形固定資産を新規に取得したことより固定資産合計が前連結会計年度に比べて増加しました。これらの結果、資産合計は973億37百万円（前連結会計年度末比29億86百万円増）となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて短期借入金や支払手形及び買掛金が増加したことなどにより608億16百万円（前連結会計年度末比76億32百万円増）となりました。

純資産合計は、円高や株式市場の株価下落によりその他の包括利益累計額のマイナスが拡大したことや、四半期純損失の計上、配当金の支払により365億21百万円（前連結会計年度末比46億46百万円減）となりました。自己資本比率は32.8%（前連結会計年度末比5.1ポイントのマイナス）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、たな卸資産の増加や売上債権の増加、有形固定資産の取得による支出等による資金の減少がありましたが、減価償却費や仕入債務の増加、短期借入金の増加等による資金の増加によって40億84百万円(前年同四半期比3億73百万円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、減価償却費や仕入債務の増加等がありましたが、税金等調整前四半期純損失やたな卸資産の増加、売上債権の増加等により15億45百万円(前年同四半期は121億10百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出等により、前年同四半期と比べ27億93百万円増加の92億43百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、長期借入金の返済や配当金の支払、社債の償還による支出がありましたが、短期借入金の増加や長期借入れにより57億84百万円(前年同四半期は81億69百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループにおいては、タイ中部のアユタヤ県ロジャナ工業団地にある連結子会社エイチワン・パーツ(タイランド)カンパニー・リミテッドが、同国で発生した洪水で敷地及び建物が浸水するなどの被害を受け、平成23年10月8日より操業を停止しております。同社では、現在、生産設備などの復旧作業を行っており、3月中旬には本格的な生産再開に至る見通しであります。また、これと並行して修繕費用などの損害額等を精査しております。

このようなことから平成24年3月期の連結業績予想につきましては、現段階では未定とさせていただきます。今後、損害額等が判明した段階ですみやかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間よりエイチワン・パーツ・シラチャ・カンパニー・リミテッドは、重要性が増したことにより連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、税引前四半期純損失となった場合には、法定実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,242	4,284
受取手形及び売掛金	15,885	18,411
たな卸資産	9,103	13,908
繰延税金資産	741	718
その他	1,927	2,311
貸倒引当金	△8	△15
流動資産合計	36,891	39,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,955	14,032
機械装置及び運搬具（純額）	20,769	19,134
工具、器具及び備品（純額）	7,798	6,409
土地	4,645	7,289
建設仮勘定	3,049	6,315
有形固定資産合計	51,218	53,180
無形固定資産		
ソフトウェア	90	103
その他	9	13
無形固定資産合計	99	116
投資その他の資産		
投資有価証券	5,299	3,529
長期貸付金	98	80
繰延税金資産	332	364
その他	500	528
貸倒引当金	△89	△80
投資その他の資産合計	6,141	4,421
固定資産合計	57,459	57,718
資産合計	94,350	97,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,861	17,096
短期借入金	6,555	10,297
1年内償還予定の社債	300	300
1年内返済予定の長期借入金	6,139	8,780
未払金	2,219	3,008
未払法人税等	783	354
賞与引当金	996	514
災害損失引当金	166	71
設備関係支払手形	553	801
その他	2,204	2,460
流動負債合計	34,781	43,685
固定負債		
社債	700	400
長期借入金	11,898	11,369
繰延税金負債	1,500	1,035
退職給付引当金	3,177	3,235
役員退職慰労引当金	308	317
債務保証損失引当金	334	299
その他	482	472
固定負債合計	18,401	17,130
負債合計	53,183	60,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,240	3,240
資本剰余金	12,237	12,237
利益剰余金	25,493	23,645
自己株式	△36	△36
株主資本合計	40,934	39,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	534	△49
為替換算調整勘定	△5,752	△7,155
その他の包括利益累計額合計	△5,218	△7,204
少数株主持分	5,451	4,639
純資産合計	41,167	36,521
負債純資産合計	94,350	97,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	93,606	75,698
売上原価	81,984	69,846
売上総利益	11,621	5,851
販売費及び一般管理費	7,254	7,209
営業利益又は営業損失(△)	4,367	△1,357
営業外収益		
受取利息及び配当金	76	79
負ののれん償却額	748	—
助成金収入	—	108
その他	404	190
営業外収益合計	1,229	378
営業外費用		
支払利息	435	445
為替差損	189	92
その他	31	29
営業外費用合計	655	567
経常利益又は経常損失(△)	4,941	△1,546
特別利益		
固定資産売却益	45	11
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	47	11
特別損失		
固定資産廃棄損	220	88
固定資産売却損	9	12
減損損失	—	14
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	48	—
特別退職金	122	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	—
貸倒引当金繰入額	1	—
災害損失引当金繰入額	—	10
その他	—	0
特別損失合計	405	126
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,583	△1,661
法人税等	730	189
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	3,852	△1,850
少数株主利益又は少数株主損失(△)	196	△396
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,656	△1,454

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	3,852	△1,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	△583
為替換算調整勘定	△2,658	△1,813
その他の包括利益合計	△2,723	△2,397
四半期包括利益	1,128	△4,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,668	△3,440
少数株主に係る四半期包括利益	△539	△806

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,583	△1,661
減価償却費	9,203	7,765
負ののれん償却額	△748	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△486	△481
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△111	9
退職給付引当金の増減額(△は減少)	87	94
受取利息及び受取配当金	△76	△79
支払利息	435	445
固定資産売却損益(△は益)	△36	1
固定資産廃棄損	220	88
減損損失	—	14
投資有価証券評価損益(△は益)	48	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	6
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△94
売上債権の増減額(△は増加)	1,878	△3,202
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,063	△5,394
仕入債務の増減額(△は減少)	△821	2,595
その他	△4	△804
小計	13,104	△696
利息及び配当金の受取額	76	79
利息の支払額	△436	△387
法人税等の支払額	△633	△541
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,110	△1,545
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	99	—
有形固定資産の取得による支出	△5,799	△9,145
有形固定資産の売却による収入	159	36
無形固定資産の取得による支出	△16	△64
投資有価証券の取得による支出	△870	△30
投資有価証券の売却による収入	46	—
その他	△69	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,449	△9,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,673	3,879
長期借入れによる収入	3,342	9,958
長期借入金の返済による支出	△3,792	△7,362
社債の償還による支出	△350	△300
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	△4,375	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△321	△385
少数株主への配当金の支払額	—	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,169	5,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	△185	△249
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,694	△5,254
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	295
現金及び現金同等物の期首残高	6,405	9,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,710	4,084

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	日本	北米	中国	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	34,049	32,288	18,850	85,188	8,417	93,606	—	93,606
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,598	0	11	6,609	51	6,661	△6,661	—
計	40,647	32,288	18,862	91,798	8,469	100,268	△6,661	93,606
セグメント利益(経常利益)	1,290	355	2,176	3,822	647	4,470	471	4,941

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイ及びインド等における事業活動であります。

2 セグメント利益の調整額471百万円は、セグメント間取引消去△100百万円、負ののれん償却額571百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	日本	北米	中国	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	27,412	24,932	16,999	69,343	6,355	75,698	—	75,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,394	52	3	7,451	69	7,520	△7,520	—
計	34,807	24,984	17,003	76,794	6,424	83,219	△7,520	75,698
セグメント利益 又は損失(△) (経常利益又は損失(△))	△620	△1,286	1,080	△826	△347	△1,174	△371	△1,546

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイ及びインド等における事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△371百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失(△)と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。